

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【公開番号】特開2008-54722(P2008-54722A)

【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2006-231788(P2006-231788)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 2 P

A 6 3 F 5/04 5 1 2 S

A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月28日(2009.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機に隣設して設置され、所定枚数の遊技媒体を貸し出す台間遊技媒体貸出機において、

前記台間遊技媒体貸出機は、

前面側を開口し、上方方向に差込片を設けた縦長箱状の本体と、

前記本体内部に設けた制御部と、遊技媒体を払出す遊技媒体払出装置と、前記遊技媒体払出装置の払出す前記遊技媒体を貯留する貯留タンクと、を設け、

前記台間遊技媒体貸出機の前面側には、

前記制御部の前面に配した第1パネルと、

前記貯留タンクの前面に配し、遊技媒体を補給する際に開閉を行い、一端に嵌込片を設けた第2パネルと、

前記遊技媒体払出装置の前面に配し、遊技媒体の供給を行う供給部を設けた第3パネルと、を備え、

前記第1パネルは、

前面下端側に前記嵌込片が嵌まり込む嵌込部と、

背面側上端部に前記本体に設けた差込片に差し込む差込部材と、背面側下端部に本体内部の本体部材に当接する弾性部材と、を設け、

前記弾性部材の弾性力による押圧で、前記第1パネルの固定保持を行い、

前記第2パネルを閉状態することで前記嵌込片が前記第1パネルの嵌込部に嵌まり込み、前記第1パネルを固定することを特徴とする台間遊技媒体貸出機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0006】

上記目的を達成するために、本発明は、遊技機に隣設して設置され、所定枚数の遊技媒体を貸し出す台間遊技媒体貸出機において、前記台間遊技媒体貸出機は、前面側を開口し、上方に差込片を設けた縦長箱状の本体と、前記本体内部に設けた制御部と、遊技媒体を払出す遊技媒体払出装置と、前記遊技媒体払出装置の払出す前記遊技媒体を貯留する貯留タンクと、を設け、前記台間遊技媒体貸出機の前面側には、前記制御部の前面に配した第1パネルと、前記貯留タンクの前面に配し、遊技媒体を補給する際に開閉を行い、一端に嵌込片を設けた第2パネルと、前記遊技媒体払出装置の前面に配し、遊技媒体の供給を行う供給部を設けた第3パネルと、を備え、前記第1パネルは、前面下端側に前記嵌込片が嵌まり込む嵌込部と、背面側上端部に前記本体に設けた差込片に差し込む差込部材と、背面側下端部に本体内部の本体部材に当接する弾性部材と、を設け、前記弾性部材の弾性力による押圧で、前記第1パネルの固定保持を行い、前記第2パネルを閉状態することで前記嵌込片が前記第1パネルの嵌込部に嵌まり込み、前記第1パネルを固定することにより達成される。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0010】

図1は本発明である台間遊技媒体貸出機1の外観斜視図を示す図である。

台間遊技媒体貸出機1は、前面側を開口した縦長箱状の本体3と、前記本体3の前面側上部に位置し、前記本体3と前面側より取り付け・取り外しできる第1パネルとして制御部パネル5と、遊技媒体を補給する際に開閉する第2パネルとして補給パネル7と、前記本体3の前面側下部に位置し、前記補給パネル7と蝶板にてねじ止され、前記本体3と着脱自在の構成となる第3パネルとして供給部パネル9と、から構成されている。補給パネル7には施錠鍵7aが設けられ、遊技客が不正に開閉できない構造になっている。供給部パネル9には供給部9aを配し、所定枚数の遊技媒体を遊技台13の受け皿13aに払い出す。補給パネル7と供給部パネル9は蝶板にてねじ止され一体化されており、供給部パネル9を着脱する際、補給パネル7も着脱することができる。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0013】

図3は制御部パネル5の外観斜視図を示す図である。

制御部パネル5は樹脂材質（ABS樹脂、PC樹脂等）で略長方形状であり、前面側には制御部3aに設けられた各種スイッチ、表示部等を突出させる開口部5dと、遊技客が媒体を投入する受入口5eと、媒体を排出する排出口5fと、が設けられている。また、制御部パネル5の前面側下部には、嵌込部5cが設けられ、補給パネル7を閉じた際、前記補給パネル7に設けた嵌込片7bが嵌まり込む。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0014】

制御部パネル5の背面上端部には差込部材5aと、背面下端部には弾性部材5bと、が設けられている。差込部材5aは、制御部パネル5にねじ止され、平面部に長方形の長穴が開口しており、本体3に設けた差込片3eに差し込むことができる。弾性部材5bは、制御部パネル5と一体成型され、板形状で背面側へ突出し、その先端は略円弧形状と成る。制御部パネル5は樹脂材質なため、制御部パネル5の取り付けの際、本体3の内部に設けた本体部材3fに弾性部材5bの略円弧形状が当接すると前記弾性部材5bは上方向にたわみを生じ、その弾性力による押圧で制御部パネル5は固定保持される。

## 【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0022】

- |    |                      |
|----|----------------------|
| 1  | 台間遊技媒体貸出機            |
| 3  | 本体                   |
| 3e | 差込片                  |
| 3f | 本体部材                 |
| 5  | <u>制御部パネル(第1パネル)</u> |
| 5a | 差込部材                 |
| 5b | 弾性部材                 |
| 5c | 嵌込部                  |
| 7  | <u>補給パネル(第2パネル)</u>  |
| 7a | 施錠鍵                  |
| 7b | 嵌込片                  |
| 9  | <u>供給部パネル(第3パネル)</u> |